

2022年8月1日

公益社団法人 日本小児歯科学会
理事長 新谷 誠康

新型コロナウイルス感染症流行下における 小児歯科臨床の実態調査に関するアンケートのお願い

2020年、世界において新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が拡大し、本邦においても2020年4月に全国に緊急事態宣言が発出されました。学校保健法施行規制第3条で学校歯科健診は、学校保健安全計画に基づいて毎年6月30日までに実施されることとなっています。しかし、COVID-19感染拡大により学校健診は延期され、その後も健診実施に至るまでに時間を要しました。

2018年に行われた全国保険医団体連合会の調査では、学校歯科健診において要受診を要する児童および生徒は、32.0%でありそのうち57.0%が未受診であることが報告されています。医療機関への受診は、COVID-19感染拡大により「受診によるCOVID-19感染」を恐れ要受診とされているにも、関わらず必要な受診ができていないことが考えられます。

そこで本アンケートでは、主体となりCOVID-19感染拡大下における小児歯科専門医および小児歯科学会会員の勤務先でのCOVID-19感染拡大下における小児患者数の調査を行い、現在の状況を把握し今後の歯科健診に活用することを目的とします。

本アンケートは学校歯科医会と連携して行っております。学校歯科医会のアンケートを回答された方も、大変お手数ですが当アンケートへの回答をお願いいたします。

◎アンケート回答期限 2022年9月5日(月)

※なお、本調査は大学病院勤務のみの方は対象外となります。

◎回答ページ(URL・QRコード)

<https://forms.gle/RwsMLifHH6UZfQqf7>



以上